

未来は
今、
起きて
くる



志授業の進め方 事例集

NPO 法人岐阜立志教育支援プロジェクト

平成 28 年 7 月

目 次

井上理事長 挨拶	1
岐阜県教育委員会 挨拶	2
志授業の歩み	3
「志授業」導入 基本パターン	4
1 「志授業」＋感想文(夢作文) (＋お役立ち山)	
2 「志授業」＋ 夢作文・お役立ち山＋お役立ち山 発表会	
3 総合的な学習の時間の中に位置付ける	5
「志授業」＋ 夢作文・お役立ち山＋お役立ち山 発表会	
副読本の活用方法	7
参考事例	
1 各務原市立鶉沼第二小学校	9
2 各務原市立中央小学校	19
3 海津市立吉里小学校	23
4 羽島市立中央小学校	29
「志授業」認定講師一覧	35
賛同者	37

「志授業の進め方事例集」発刊にあたり

NPO法人岐阜立志教育支援プロジェクト
理事長 井上 武

岐阜県内の小中学校で進めている「志授業」も8年目を迎え、今では、毎年、2千名の子ども達に「夢・志」をもとうと「志授業」でお話しています。

学校によっては一年間を通じて毎月「志授業」に関する時間を設け、大きな成果を上げる学校も出始めました。先生方が、こうした情報を共有して「志授業」の進め方を学ぶと大きな成果が出るのではと、今回「志授業の進め方事例集」を発刊することになりました。

いくつかの学校の事例が掲載されていますが、先生方の授業の進め方の参考にしていただければと思います。事例の作成にご協力いただきました先生方に感謝します。

「志授業」を初めて採用していただく学校、これから、子ども達に「夢・志」をどのようにしてもたせればよいか検討している先生方のご参考になれば幸いです。

「志授業の進め方事例集」発刊をお祝いして

岐阜県教育委員会 義務教育総括監
水川 和彦 様

「僕は、子どものころから、『人に笑われてきたことを常に達成してきている』という自負がある。例えば、小学生の頃も毎日野球の練習をして、近所の人から、あいつプロ野球選手にでもなるのかって、いつも笑われてきた。」イチロー選手は、日米通算4256安打達成の記者会見でこう語りました。今日のイチロー選手の卓越した技術と強い精神力を磨き上げたものが、実は、子どものころからの小さな、しかし、たゆまざる努力の積み重ねであることに胸熱くなります。

このたび、8年間の志授業の貴重な実践をふまえ、「志授業の進め方事例集」が発刊されると聞きました。関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表します。

岐阜の未来を担う多くの子どもたちに、たしかな「志」の芽を育ててくださる岐阜立志教育支援プロジェクトに大きな期待を寄せています。「志授業」は、子どもの未来を確かに拓く、大切な「人生道場」なのだと思います。

同時に、私たち大人も、その「志」という小さな芽を確かに育てる土や水になる覚悟を持たなければならないと感じています。

2016年6月17日 現在

2008年	3月	羽島市立正木小学校で、初めて「志授業」を実施
2009年	4月	志授業にあわせて、「志授業 副読本」の編集が始まり副読本5000部完成・配布始まる
	8月29日	第1回 立志教育支援フォーラムを未来会館で開催 2009年度は、小中学校6校で「志授業」を実施
2010年	8月29日	第2回 立志教育支援フォーラムを開催 副読本 3000部完成 11社の企業から支援・協力を戴く
	12月3日	岐阜立志教育支援プロジェクト NPO法人設立申請
2011年	1月6日	NPO法人岐阜立志教育支援プロジェクト正式認可
	8月20日	第3回 立志教育支援フォーラムを開催 2011年度は、小中学校10校で「志授業」を実施
2012年	8月25日	第4回 立志教育支援フォーラムを開催 2012年度は、小中高校20校で「志授業」を実施 講師は井上理事長が担当
	6月25日	第1回 志授業実践研修会を開催
2013年	8月24日	第5回 立志教育支援フォーラムを開催 2013年度は、小中高校20校で「志授業」を実施 志授業を総合学習の年間計画に取り上げる学校が出てきた 2名の専任講師が担当
	6月5日	第2回 志授業実践研修会を開催
2014年	8月9日	第6回 立志教育支援フォーラムを開催 2014年度は、小中高校20校で「志授業」を実施 「志授業」・発表会・授業参観で発表の形式が増えてきた 3名の専任講師が担当
	8月8日	第7回 立志教育支援フォーラムを開催 2015年度は、小中学校25校で「志授業」を実施 三重県の小中学校からの「志授業」の依頼も出てきた 4名の専任講師が担当
2016年	1月25日	第3回 志授業実践研修会を開催 参加者は教師・教育委員会と立志教育のメンバー
	8月6日	第8回 立志教育支援フォーラムを開催予定

1 「志授業」+感想文(夢作文)(+お役立ち山)

- ① 「志授業」を受ける。
 - ・45分間あるいは60分間の授業を選択する。
(学校、学年の実態に応じて、調整を図る。45分間であると、内容的に削る部分があるので、訴えることが弱くなることも考えられる。)
 - ・「志授業」について、なぜ受けるのか、どのような視点で聞くのか等についての事前指導をする。(朝の会、ゆとりの時間等を利用する。)
- ② 感想文を書く。
 - ・学級で感想を交流する。(初めて知ったこと、心に残ったこと、今までの自分と比較して懂れる部分について、これから挑戦していきたいことについて等)
 - ・交流したことをもとに、感想を書く。これが夢作文になる。
 - ・時間があれば、お役立ち山を作成する。
- ③ 副読本を読んで話し合う。
 - ・ゆとりの時間や読書の時間等を利用して、何回かに分けて読む。(自分の意見を各部分では、ゆとりがあれば記入する。)
 - ・家庭学習として読む。(親子読書としてもよい。)
- ④ 3時間～6時間が必要

2 「志授業」+夢作文・お役立ち山+お役立ち山発表会

- ① 「志授業」を受ける。
 - ・45分間あるいは60分間の授業を選択する。
(学校、学年の実態に応じて、調整を図る。45分間であると、内容的に削る部分があるので、訴えることが弱くなることも考えられる。)
 - ・「志授業」について、なぜ受けるのか、どのような視点で聞くのか等についての事前指導をする。(朝の会、ゆとりの時間等を利用する。)

今後の展望

- ・「志授業」を地域文化にする・・・行政・学校・地域・企業の連携
- ・「志授業」のモデル地区作り・・・各務ヶ原市など
- ・「志授業」を広める研修会・・・志授業実践研修会 など
- ・志教育を継続実施できる仕組みの構築・・・「志授業」の講師育成、後継者の育成

- ② 夢作文とお役立ち山を書く。
- ・学級で感想を交流する。(初めて知ったこと、心に残ったこと、今までの自分と比較して憧れる部分について、これから挑戦していきたいことについて等)
 - ・交流したことをもとに、感想を書く。これが夢作文になる。
 - ・お役立ち山を作成する。
- ③ 副読本を読んで話し合う。
- ・ゆとりの時間や読書の時間等を利用して、何回かに分けて読む。(自分の意見を各部分では、ゆとりがあれば記入する。)
 - ・家庭学習として読む。(親子読書としてもよい。)
- ④ お役立ち山発表会をする。
- ・自分のお役立ち山を仲間や保護者に向けて発表する。
 - ・仲間の考えているお役立ち山と自分のお役立ち山とを比較して、共通点や相違点を感じながら、仲間のよさを知ることとともに、自分のよさに自信をもつようにする。
 - ・保護者に向けて発信した場合には、保護者からの感想や認め言葉をいただく。
- ⑤ 6時間～10時間が必要

3 総合的な学習の時間の中に位置付ける

「志授業」+夢作文・お役立ち山+お役立ち山発表会

- ① 総合的な学習の時間のなかで、一年間の見通しをもつ。
- ② 各学校の計画に従って、進めていく。
- ③ 副読本を読んで話し合う。
- ・ゆとりの時間や読書の時間等を利用して、何回かに分けて読む。(自分の意見を各部分では、ゆとりがあれば記入する。)
 - ・家庭学習として読む。(親子読書としてもよい。)
 - ・読み進め方は、年間計画に従う。
- ④ 年間計画で位置付けられた時期に、「志授業」を受ける。
- ・45分間あるいは60分間の授業を選択する。

(学校、学年の実態に応じて、調整を図る。45分間であると、内容的に削る部分があるので、訴えることが弱くなることも考えられる。)

- ・「志授業」について、なぜ受けるのか、どのような視点で聞くのか等についての事前指導をする。(朝の会、ゆとりの時間等を利用する。)

- ⑤ 夢作文とお役立ち山を書く。
- ・学級で感想を交流する。(初めて知ったこと、心に残ったこと、今までの自分と比較して憧れる部分について、これから挑戦していきたいことについて等)
 - ・交流したことをもとに、感想を書く。これが夢作文になる。
 - ・お役立ち山を作成する。
- ⑥ お役立ち山交流会をする。
- ・自分のお役立ち山を仲間に向けて発表する。
 - ・交流方法については、学校の実態に応じて行う。
(例；班で交流して、班員のアドバイスをもとに修正する。
代表者の発表を聞いて全体交流した後に、自分のものを修正する。
他の学級とのスクランブル交流を行うことで、感じ方の違いを知り、直す。
下学年(5年生)に向けて発表し、分かりやすさについて感想を聞く。等)
 - ・仲間の考えているお役立ち山と自分のお役立ち山とを比較して、共通点や相違点を感じながら、仲間のよさを知ることとともに、自分のよさに自信をもつようにする。
 - ・仲間からのアドバイスをもとに、お役立ち山や夢作文を修正する。
- ⑦ お役立ち山発表会をする。
- ・自分のお役立ち山を仲間や保護者に向けて発表する。
 - ・仲間の考えているお役立ち山と自分のお役立ち山とを比較して、共通点や相違点を感じながら、仲間のよさを知ることとともに、自分のよさに自信をもつようにする。
 - ・保護者に向けて発信した場合には、保護者からの感想や認め言葉をいただく。

- ⑧ 15時間～70時間が必要

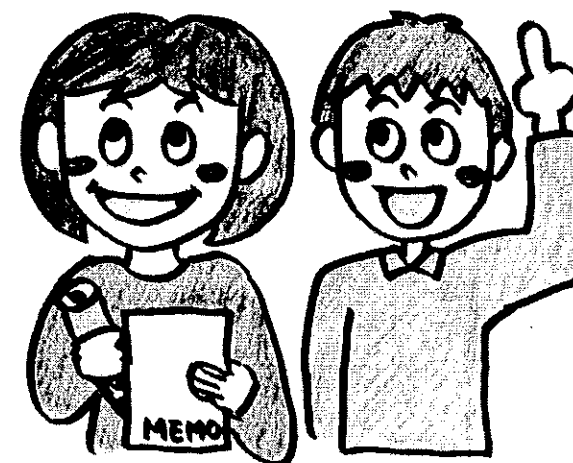
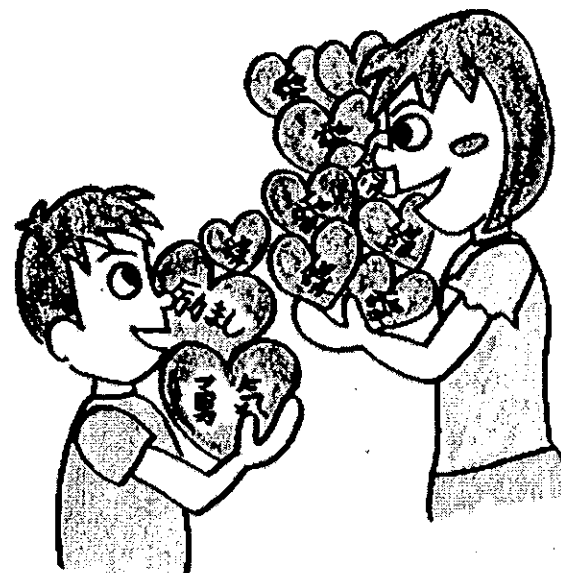
副読本の活用方法

副読本を読んで話し合い、志授業とつないでいくことで、具体的に考えていくことが可能となる。また、仲間と話し合うことによって、いろいろな感じ方や考え方があることが分かり、仲間のよさだけでなく、自分のよさも分かって、自信をもつことにつながる。

活用方法としては、前述の導入基本パターンのそれぞれの③で示してある。具体的には、以下のようなものである。

- ・ゆとりの時間や読書の時間等を利用して、何回かに分けて読む。(自分の意見を各部分では、ゆとりがあれば記入する。) 分割して読むときの参考パターンは、次ページのようなものである。
- ・家庭学習として読む。(親子読書としてもよい。)
- ・読み進め方は、年間計画に従う。
- ・1時間で、副読本を活用して志授業へとつなぐのもよい。
- ・子どもの手元にあるということは、子どもが好きなきに、好きなだけ読めるということであり、自分の未来を自分で作りだしていくということの手助けになると考えている。

時間	内 容	ページ
1	社長って	4
	社長の3つの条件	6
	「人生経営の社長」	8
	「人生経営の社長」の就任年齢は?	10
2	「志」とは?	12
	「志」をもっていた人の代表	15
	織田信長の天下布武	16
3	岐阜県出身の人物紹介	18
	千畝さんの志	19
	仕事と志事	22
4	お役立ち山	24
	「お役立ち山」を目指してがんばっている人	26
	尚子さんはなぜお役立ち山が描けたのかな?	32
5	「未見の我」	34
6	山と谷	40
	谷こそチャンス	42
	山を登るときの呪文	44
7	ギブ・ギブ・ギブ...	46
8	めげないこと・あきらめないこと	46
	「めげなかった・あきらめなかった」人	48
9	君のお役立ち山	54
10	臥龍さんからのエール	64

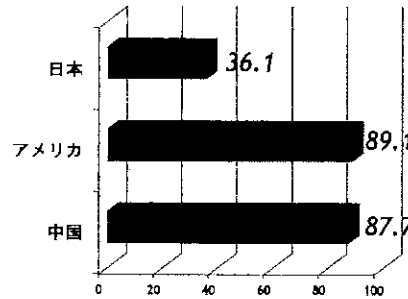


志教育実践発表

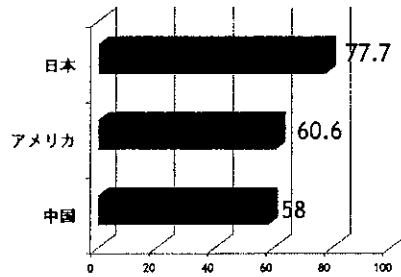
各務原市立鵜沼第二小学校

1 はじめに

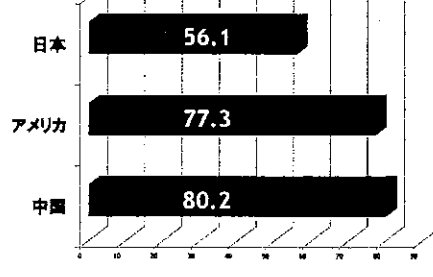
私は価値のある人間だと思う



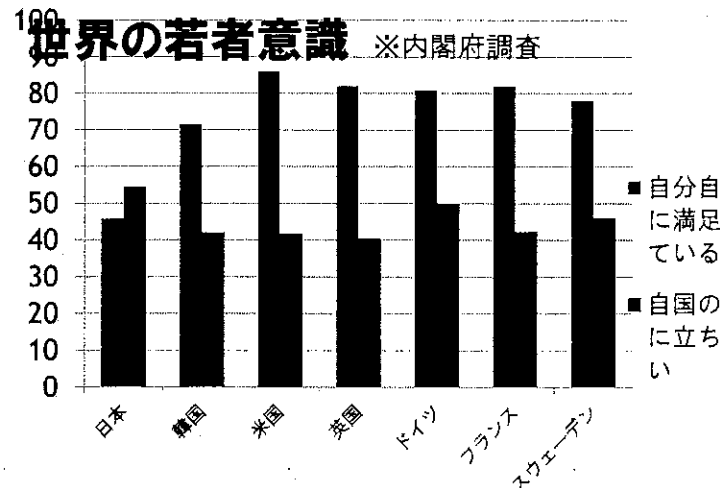
将来に不安を感じている



自分の希望はいつか叶う



この三つのアンケートから、日本の子どもたちは他国に比べ、自己肯定感が低く、強い不安を抱えていることが分かる。また、そのせいで将来への夢をもつことができない子どもが多いようである。これを受けて、各務原市は夢ある都市を目指していることから、鵜沼第二小学校も夢ある学校にしたいと考えた。また、そうすることで、夢をもつことができる子どもを育てることにつながると考えた。

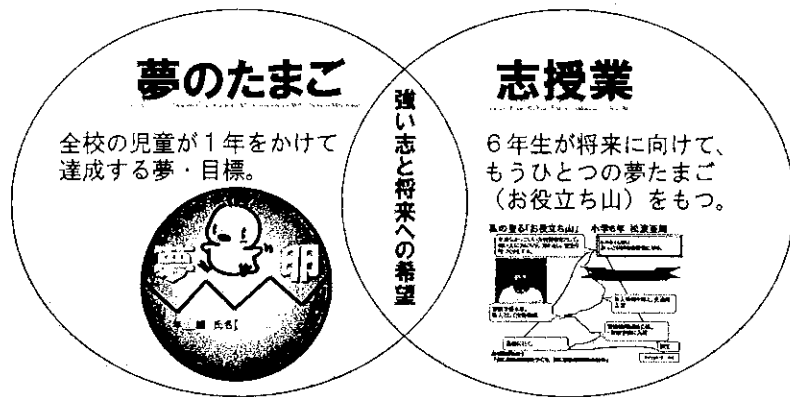


鵜沼第二小学校のキャリア教育

具体的に、本校のキャリア教育の重点を大きく次の二点に置いて、強い志と将来への希望を子どもたちにもたせていこうと考えた。

(1) 夢たまごの取組

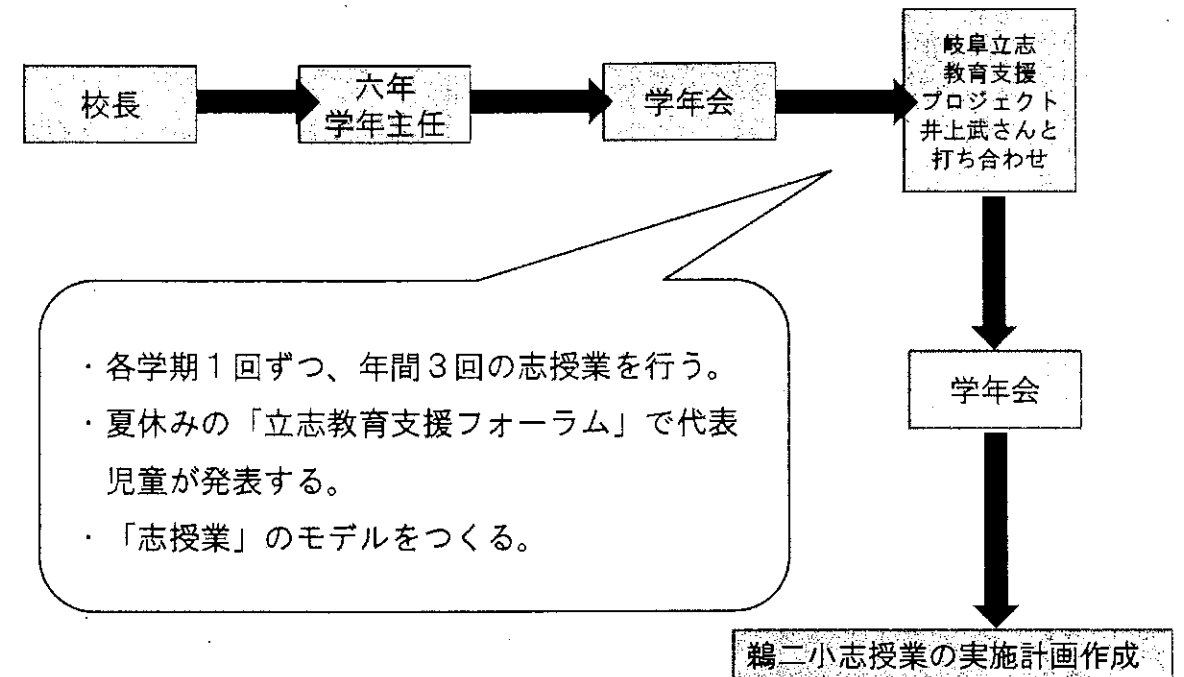
夢たまごとは、全校の児童が1年をかけて達成する夢や目標を決め、それに向かって努力する取組。100冊読書や、多読賞を目指すといった読書に関する目標や、スポーツに関わる目標、学習に関する目標、ボランティアに関わる目標など、それぞれの児童が自分に合った夢や目標をもつ。また、児童だけでなく教師も目標を掲げ、子どもたちとともに夢の実現に努力した。



(2) 志授業

志授業では、6年生が将来に向けて、一生をかけて達成する夢たまご（お役立ち山）をもつことを目指す取組。

実践計画



年間実施計画

打ち合わせを受けて、再度学年会を開き、年間の予定を相談した。そして、鵜沼第二小学校の志授業の実施計画を作成しました。

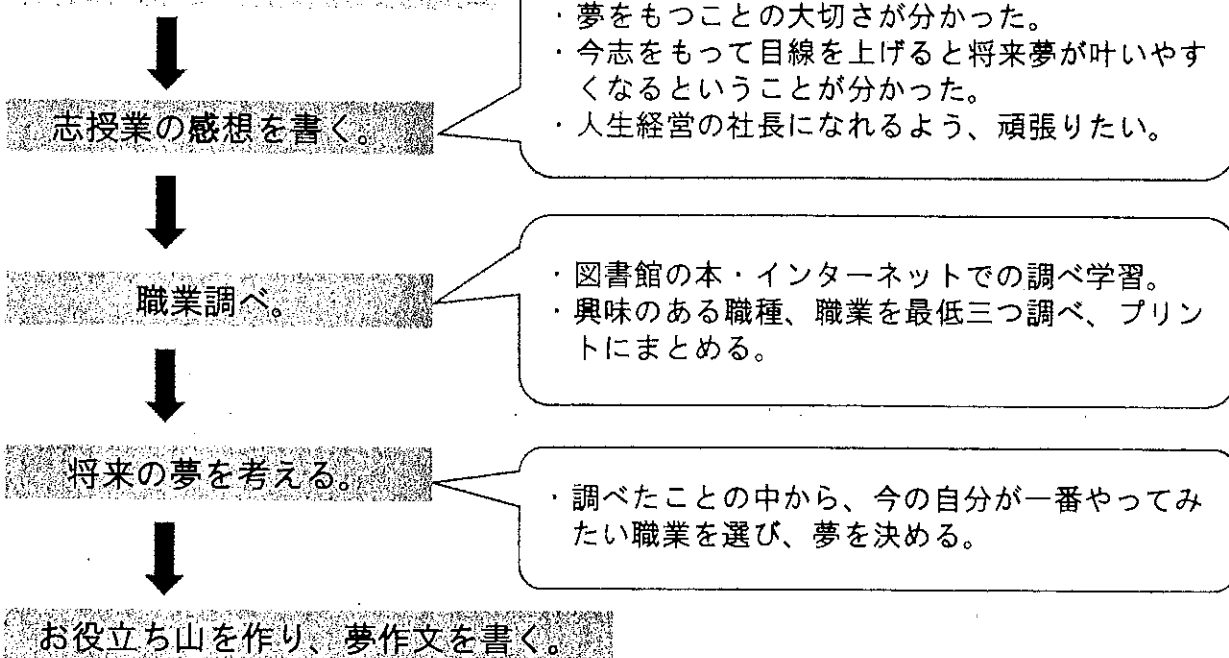
学期	内容	時間
1学期	井上さんとの志授業の打ち合わせ（冊子をもらう）	放課後
	冊子をもとに志授業についての説明をする	1時間
	井上さんの話を聞く	2時間
	井上さんの話を聞いた感想を書く	1時間
	どんな職業があるか、インターネットで調べる	3時間
	将来の夢を考える（「お役立ち山」を書く）	3時間
夏休み	フォーラムに代表者参加	夏休み
2学期	代表者10人による発表と井上さんの話を聞く	2時間
	井上さんの話や発表者の話を聞いた感想を書く	1時間
	1学期に書いた「お役立ち山」の見直しをする	3時間
3学期	「お役立ち山」をパソコンで打つ	2時間
	将来の夢の文章を考える	1時間
	皆の前で発表する練習をする	2時間
	授業参観でお家の人の前で発表する	1時間

年3回の志授業を柱に、そこへたどり着くための学習を取り組んだ。

第1回 志授業 (6月13日)

- * 井上さんの話 (オリエンテーション)
 - ・今、志を持つことの大切さについて。
 - ・お役立ち山とは何か。お役立ち山の作り方。
- * 西麻衣子さん (トライアスロン選手) の話

第1回志授業を受けて



・夢をもつことの大切さが分かった。
 ・今志をもって目線を上げると将来夢が叶いやすくなるということが分かった。
 ・人生経営の社長になれるよう、頑張りたい。

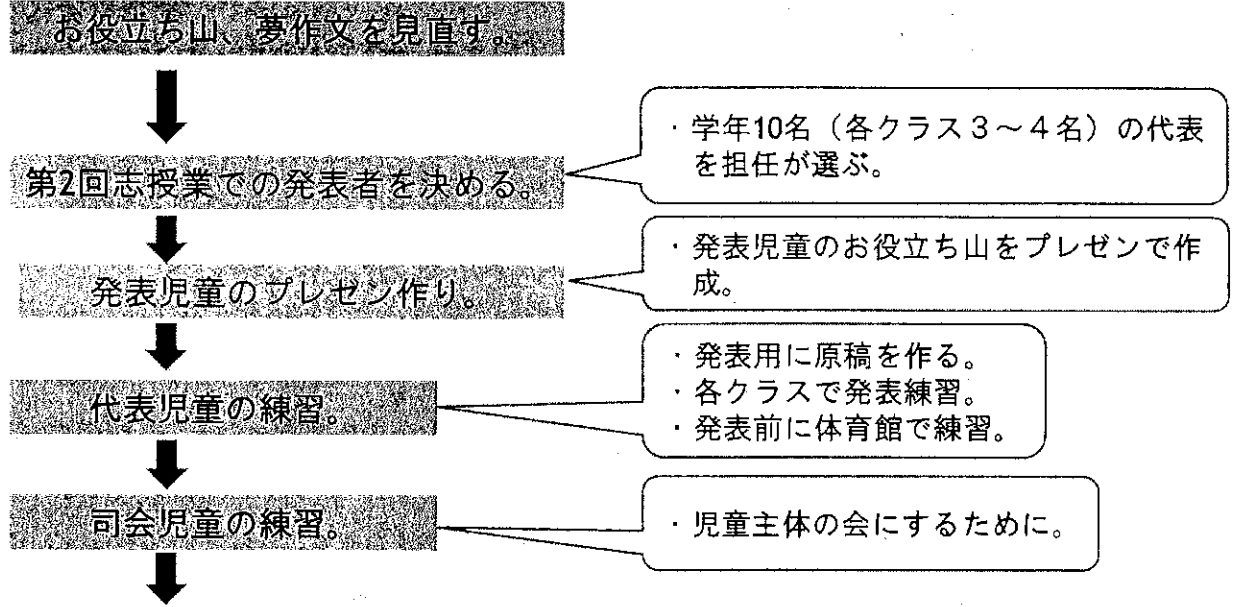
・図書館の本・インターネットでの調べ学習。
 ・興味のある職種、職業を最低三つ調べ、プリントにまとめる。

・調べたことの中から、今の自分が一番やってみたい職業を選び、夢を決める。

- ・自分の夢をかなえるために、何をすればよいかを調べ、お役立ち山にまとめる。
- ・お役立ち山を見ながら、自分の夢について作文に書く。

夏休みには、「立志教育支援フォーラム」に本校の代表として松波さんが発表した。彼女は1学期の志授業の中で、警察官になるという夢をもち、そのために頑張りたいことを大勢の人の前で発表した。

実践内容 2学期



・学年10名 (各クラス3~4名) の代表を担任が選ぶ。

・発表児童のお役立ち山をプレゼンで作成。

・発表用に原稿を作る。
 ・各クラスで発表練習。
 ・発表前に体育館で練習。

・児童主体の会にするために。

第2回 志授業

- ・『人生経営』の社長を目指す皆さんへ」というサブタイトルの下、開かれた。
- ・子どもたち一人一人が、人生経営の社長なんだということと、これまでの志授業のまとめを井上さんから聞いた。
- ・「立志教育支援フォーラム」での、仲間の発表をDVDを通してみた。
- ・代表児童の発表を聞いた。発表に対して、井上さんからの感想を聞き、児童はプリントにそれぞれの発表に対して感じたことや学んだことなどをまとめた。
- ・浅野市長の話聞いた。浅野市長は、自分が子どものころから市長になりたいという夢をもっていたことや、それに向かって努力してきたこと、座右の銘である「努力したからと言って成功するとは限らない。しかし、成功しているものは皆努力している。」という言葉について、子どもたちに熱く語ってくださった。
- ・校長の話と全体の会のまとめとして、井上さんの話を聞いた。

組	私の志
1	ドラマや映画に出演し、多くの人に感動してもらう。
	宇宙飛行士になる。
	音楽教師になって一人でも多くの人に音楽のすばらしさを教える。
2	国境なき医師団の一員になる。
	看護師になること。 臨床検査技師になる。
3	ダンサーになっているいろいろな人にダンスを教える。
	渓流魚を養殖する養殖場と管理釣り場をつくって日本一おいしい魚をつくる。
	少しでも多くの人を支え笑顔にできるような仕事をする。 ホッケーでオリンピックに出て、優勝する。

第2回志授業を受けて

志授業の感想を交流する
学級通信など

- * 仲間の発表からみんなの夢や、思いを知ること、自分もがんばりたいという思いがもてた。
- * 井上さんの話から志を高くもつことの大切さを知った。
- * 市長さんの話から夢の実現のために努力することの大切さを知った。

1学期に考えた将来の夢をもう一度見つめなおす。

この、第2回志授業を受けて、次は自分たちがみんなの前で発表するという事を知り、ますます真剣に自分の夢について考える姿が見られた。

また、授業を終えて、感想や意見を交流した。仲間の発表を聞くことで、自分も頑張りたいという思いをもった児童や、井上さんの話から、志を今の時期に高く持つことがどれだけ大切な事なのかを知ることができた。という児童の感想が多くみられた。

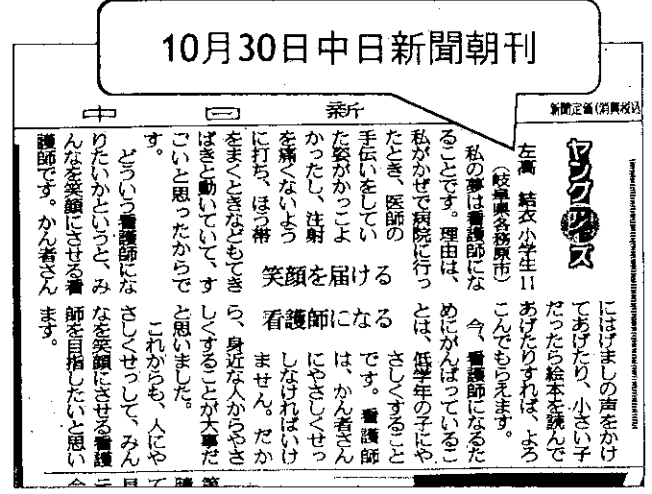
実際に子どもたちから夢を実現するために努力した浅野市長の話は、感銘を受けた児童が多くいた。

2学期の間、小学生新聞に特集された有名人の夢をかなえた話や、担任の夢の話などを積極的に伝え、努力して夢をかなえた人がたくさんいるということを知った。そうすることで、自分にもできるのではないかと気持ちが高めることができた。

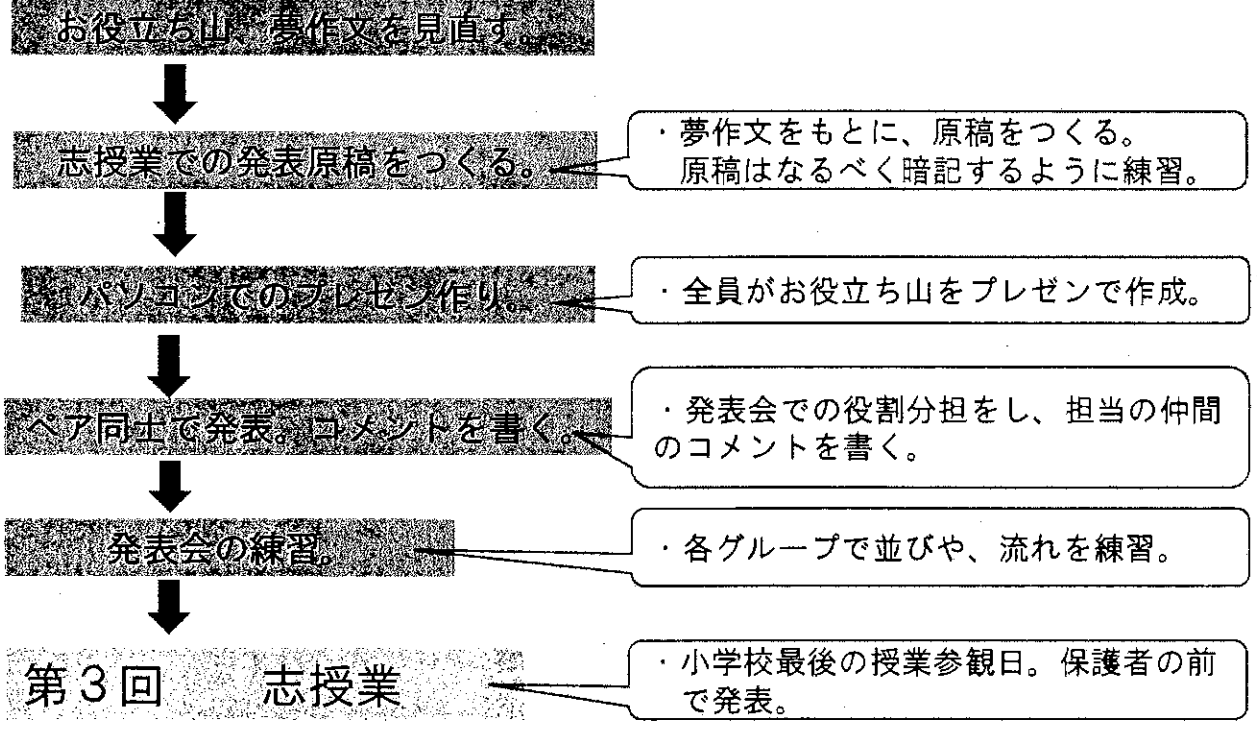
児童の意識の変化

志授業が根付く

- * 仲間の夢に対する興味関心が高まり、子どもたちの話題になるようになった。
- * 図書館で職業に関する本をかりるようになった。
- * すぐ先の中学校だけでなく、夢をかなえるために必要な資格や、その先の進路（学校）への興味が高まった。
- * 外へ向けて自分の思いを発信する児童が出てきた。
- * 鶴二小今年の漢字「夢」になる。

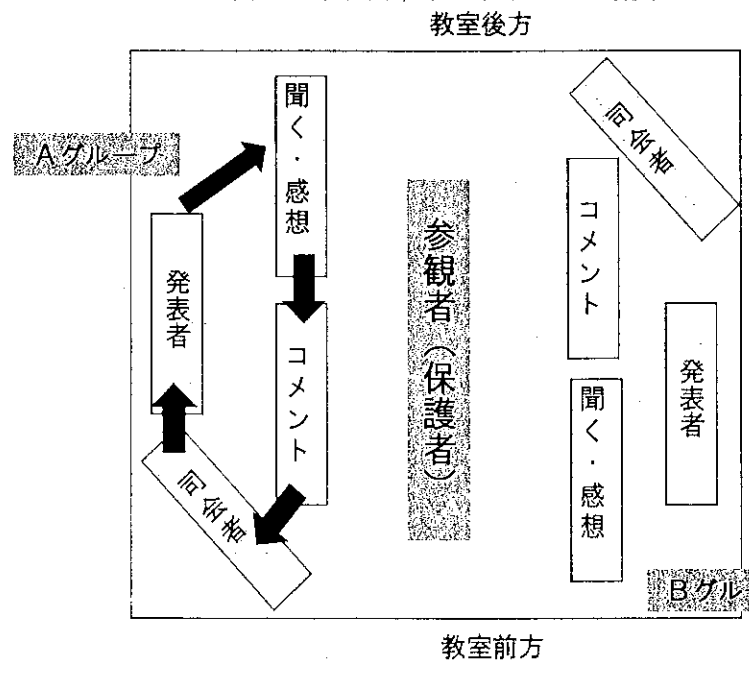


実践内容 3学期



3回目の志授業は、小学校生活最後の授業参観日に行った。初めに、学年全員で全体会を行い、井上さんの話を聞いた。その後、各教室に分かれて全員が志を発表し、感想と振り返りを書いた。各学級でのまとめの話を担任から聞き、再度学年全体で集まって井上さんから1年間の締めくくりのお話を聞いた。

志発表会（各学級）



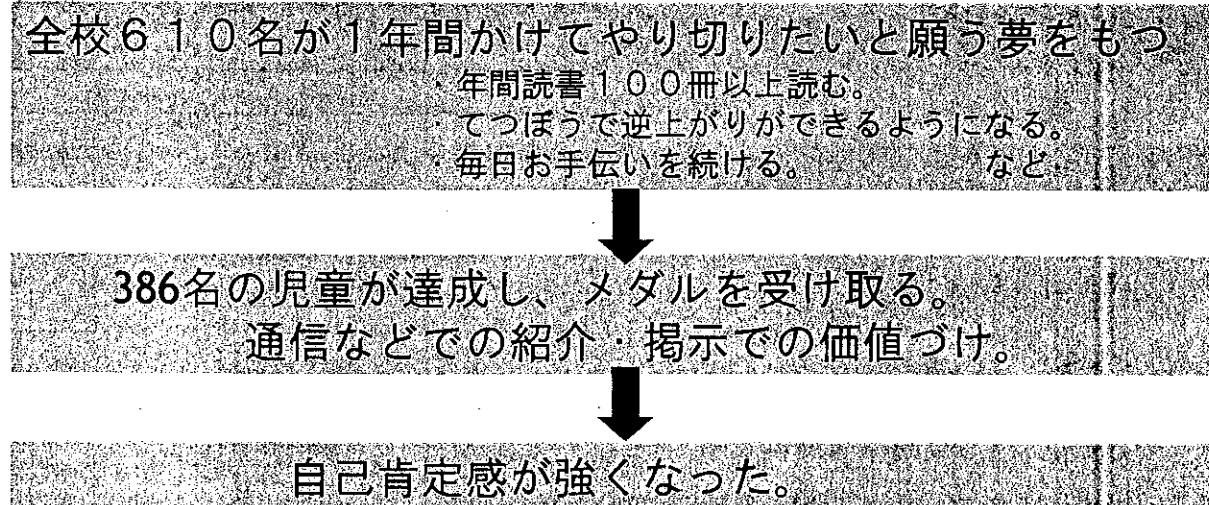
各学級における発表会は、次のように行った。
・室を左右二つに分け、A・B二つのグループに分ける。
グループの中で、さらに発表者グループ、聞く・感想を言うグループ・コメントをいうグループ・司会者グループに分かれ、子どもたちの力で、全員が役割を持って取り組める会にした。参観する保護者は教室中央で背中合わせで発表を聞いた。
・発表者グループの話が終わると、コメントのグループが発表についての意見や感想を話した。そして、全員が発表するとローテーションをして、役割を交代した。

この会をやることによって、保護者の前で自分の夢を話したり、仲間の夢への思いを聞くことができ、自分の夢を実現させたいという思いが高まった。また、今の夢を大切にしたいという願いの下、発表会で使用した夢作文とお役立ち山を卒業文集に挟み、持ち帰った。

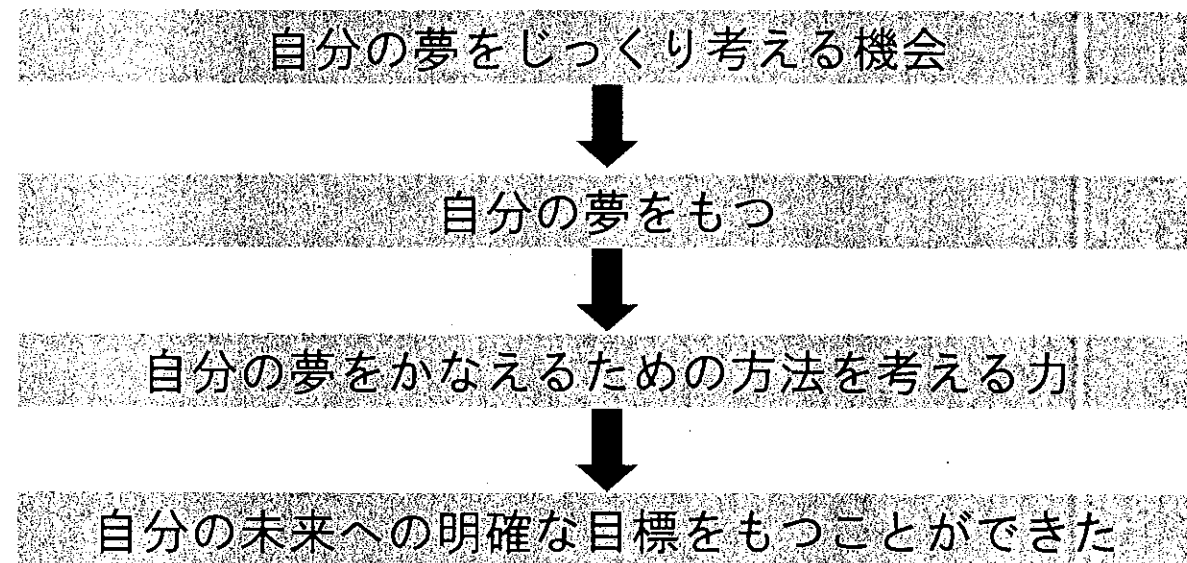
成果



夢たまごの取り組み



志授業の導入



志授業の今後の展望

中央中校区では小中連携キャリア教育の推進を考えている。鶴沼第二小学校、中央小学校、陵南小学校において志授業を行い、中央中学校の2年生でも志授業を行うことで、より高い自己肯定感と志をもった子どもを育てることを目標にしています。

中央小学校の予定

平成26年度 キャリア教育の視点をふまえた題材系統図
各西原市立中央小学校(4, 5, 6年)

学年	人間関係を築く力 ① 自己の理解能力 ② コミュニケーション能力	働くことや仕事を理解する力 ③ 情報収集・探求能力 ④ 職業理解能力	将来を設計する力 ⑤ 役割把握・把握能力 ⑥ 計画実行能力	意志決定をする力 ⑦ 適性能力 ⑧ 課題解決能力
一 年 級	入学式(行)(5)	日直、授業当番の仕事	わがてつぼう(行)(5)	学期目標決(行)(5)
	自己紹介(学、英)	受取当番の仕事(6)	ファミリー活動の計画(6)	
	志授業:井上さんのお話を聴こう(6)	委員会活動	自分のできることをやってみよう(表)(5)	身の回りをよくみる(表)(5)
	志授業:井上さんの話の感想を書こう(6)	水曜日給(5)		
	主な誕生日(3)	パソコンセンター見学(みなと市まわりのしごと)(4)	希望の職業(表)(4)のあてはめ(表) 活動計画作り(表)(5)	
	ハンズオン入館(表)(5)	履歴書(表)(4)		学校生活に関する話し合い活動(表)(5)
	宿題研習(表)(3)	志授業:職業調べ(6)		
	公民館見学(5)	母の仕事(表)(3)	夏休み計画	職業解決学習(各教科)
	ニンジャクン(年間)	母の仕事(表)(3)	わがてつぼう(学)	学期目標決(学)
	はらこのおれ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
二 年 級	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
三 年 級	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		
	国語の調べ(表)(4)	母の仕事(表)(3)		

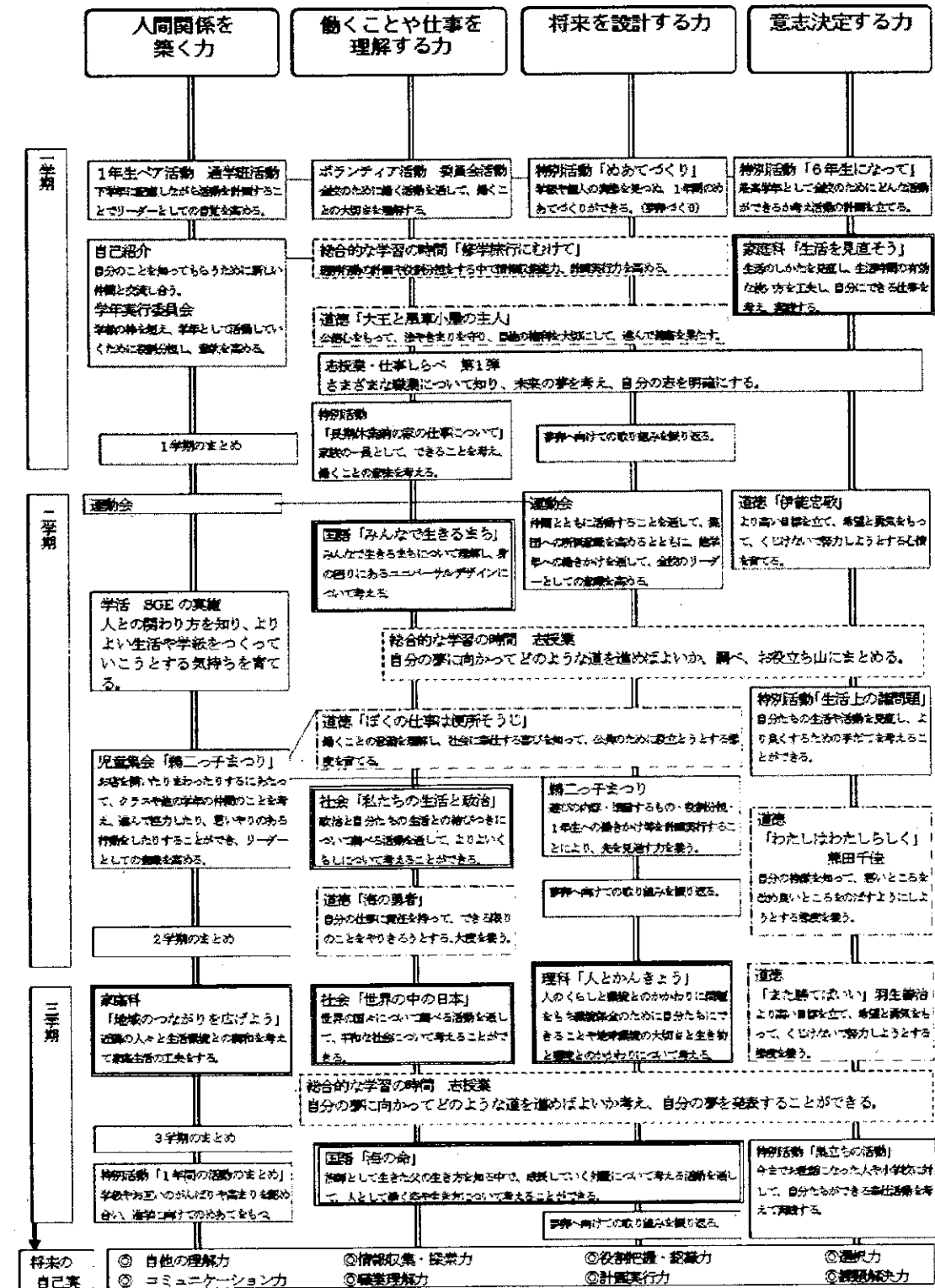
陵南小学校の予定

総合的な学習の全体計画で、6年生に志授業が年間34時間位置付いている。

総合的な学習の時間の名称	りょうなん			
教科との関連 <指導内容> ・発達段階に応じた「話すこと・聞くこと・話し合うこと・書くこと」の指導を通し、言語能力を鍛える。 <学び方> ・段階表をもとに全教科を通して、めざす姿に近づけていく。 ・課題を見つける力、見通しをもって追求する力、学んだことや見つけたことを表現する力を育てる。	総合的な学習の時間内容及び学習活動			
	【3学年】 ◎陵南の地域のひみつ(27) ・地域や自然を探検し、施設や土地利用の様子をまとめたり発表したりする。 ◎志教育(20) ◎情報モラル(3)	【4学年】 ◎みんなにやさしい町～身の回りの福祉～(18) ・高齢者や障害者のくらしを支援する仕組み(パリアフリーなど) ・盲学校との交流 ・独居老人への年賀状 ◎志教育(20) ◎情報モラル(3) ◎ITリテラシー(3)	【5学年】 ◎陵南の産業(30) ・校区やその周辺の農業や工業を調べ、発表する。(なし圖、岐阜車体等) ◎志教育(34) ◎情報モラル(3) ◎ITリテラシー(3)	【6学年】 ◎歴史あるある探検隊(30) ・古墳ラリー ・修学旅行への取り組み ◎志教育(34) ・築立ち活動 ◎情報モラル(3) ◎ITリテラシー(3)
	特別活動との関連 ・ボランティア体験や自治的活動を仲間とともにやりぬく。 道徳との関連 ・小中共通重点である親切・生命尊重に加え、郷土愛に関わる資料を位置づける。			

また、中央中でも進路講話をきっかけにして、2年生で志授業を取り入れる計画を進めている。

鷺沼第二小学校の予定



本校では今年度も昨年度の志授業を基礎として、より高い自己肯定感と夢に向かって努力する心を育てるために、総合的な学習の時間に取り組んでいく。

今年度、6月11日に、第1回志授業が行われます。このように、小中が連携し、中央中校区から志授業が広がりつつある。この輪がどんどん広がり、将来への高い志を持ち、夢に向かって努力できる子が育つことを期待している。

志授業実践発表

各務原市立中央小学校

1 志授業の始まり

- 平成26年度 中央中校区3校（中央小・鶉沼第二小・陵南小）の6年生で「総合的な学習の時間」の授業を使って行うことになる。
- 子どもたちがなかなか夢をもてない社会の中で、志を考えることで、自分の生き方をはっきりと示せる大人になってほしいという願いのもとに行うことになった。

日本の子どもたちの実情

- 日本は、世界での幸福度が178か国中90位である。
- 世界には、食べたくても食べられない人がたくさんいるのに日本は、食べ物の4分の1を捨ててしまっている。
- だからこそ、感謝の気持ちを大切にして、働くことの幸せを感じることである。（井上さんの講話より）

2 中央小学校の年間計画

月	ねらい	内容
5月	志授業の概要を理解する。	井上さんの講話を聞いて、志をもつことの大切さを感じる。
6月	自分のなりたい仕事について理解する。	本やインターネットでなりたい仕事の内容やなるための方法を調べてまとめる。
7月	自分の志を明らかにする。	調べたことをもとにして、お役立ち山と夢作文を書く。
9月	自分の志を見直す。	1学期の夢作文を見直して、もう一度詳しく考える。
10月	自分の志を再び明らかにする。	お役立ち山をパソコンで作成し、夢作文を書く。
11月	志をはっきりさせていく。	志発表会で代表児童の話聞く。市長さんの話聞く。
12月	志をもつことの大切さを考える。	代表の子や市長さんの話から、自分の生活の仕方を見直す。
1月	自分の志を発信する。	授業参観で、保護者に向けて自分の志を発表する。
2, 3月	1年間のまとめをする。	お役立ち山や夢作文を見て、新たに自分の志をはっきりさせていく。

3 26年度の実践より

(1) 1学期

5月…井上さんの講話を聞く。

夢を持って目線を上げることは、大切な。感謝の心ももち続けたいな。

6月…自分のなりたい職業について3つ決めて、どんな仕事か内容をインターネットで調べる。その中から1つに絞ってどうすればその職業につけるのか、インターネットで調べる。

自分がなりたい仕事は、楽しそうだな。でも、なるためには、大変なこともあるな。

7月…調べたことをお役立ち山にまとめ、夢作文を書く。

自分の志がはっきりしたな。

(2) 2学期

9月…1学期に書いたお役立ち山と夢作文を見直し、もう1度自分の志を考えてみる。

自分の志はこれでいいかな。考え直してみよう。

10月…あらためて、夢作文を書いて志を決める。

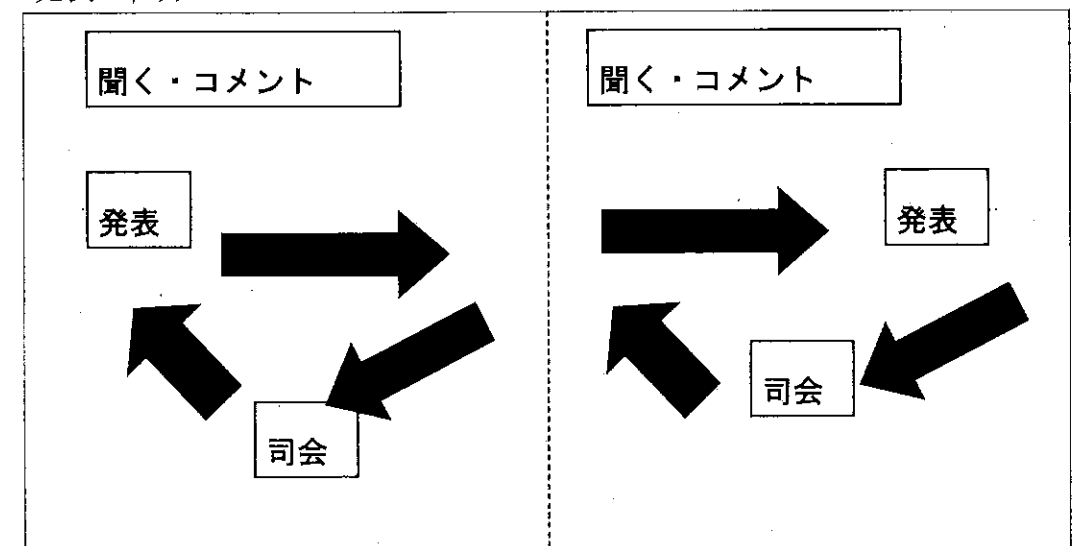
11月…市長さん、井上さん、細江さんを招待して志発表会。各学級3名の代表者の発表。その他の子は、代表児童の話聞いて、感想をもつ。また、井上さんには、講評を、市長さんには自分が市長になろうと思ったわけや、どのようにして実現させたかを話していただく。

私の志達成のための職業

日本語教師、大工、プロサッカー選手、教師、ファッションデザイナー、盲導犬訓練士、白バイ警察官、美容師、兼業農家

仲間の発表から…仲間の志を聞いて、具体的な思いを理解し、自分もしっかり志をもとうという思いがもてた。
井上さんの話から…1学期の話思い出して、今一度目線を上げることの大切さを実感した。
市長さんの話から…夢を実現するために具体的な計画を立てる大切さが分かった。

発表の仕方



授業参観風景



(3) 26年度の成果と課題

○成果

- ・子どもたちが、志をもつことの大切さを理解できた。
- ・自分のなりたい職業を考えることによって、自分がどんな道を進めばよいかを明らかにできた。
- ・そのことを受けて、今自分が努力することも明らかにできた。
- ・他の子の志を聞くことによって、あらためて自分の志を考えることができた。
- ・市長さんや井上さんの話を聞いて、志を実現した方の思いを理解することができた。
- ・保護者に向けて発表することで、自分の志の表現の仕方を考えることができた。
- ・保護者も、子どもたちの志を知ることができた。

△課題

- ・自分の志(夢)をなかなか持てない子がいるため、そういう子に対する指導を考える必要がある。
- ・職業によっては、インターネットや本だけでは、調べても分からないものがあったため、お役立ち山に書けない児童がいた。
- ・もう少し、実際の職業に就いている方の話を聞けるとよかった。

4 27年度の実践より

(1) 1学期

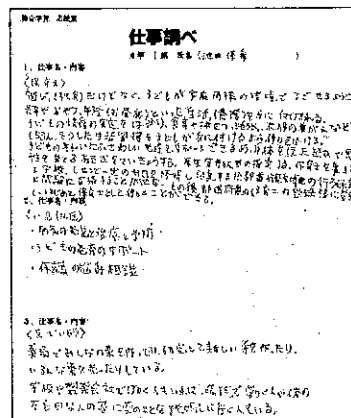
5月…志授業のねらいと1年間の見通しを理解する。

6月…4日 第1回志授業

「井上さんの講話」を聞く。

- ・人間の基本3つ
- ・働くことの幸せ
- ・目線を上げることの大切さ

26年度と同じように進める



7月…お役立ち山と夢作文を書く。

昨年の反省を生かし、自分の調べたことをもとにして、小学校・中学校・高等学校・その後の道をできるだけ詳しく書くこと、そのためにその時々どんなことを頑張るのかを考えさせた

毎日の生活を大切にしたいな。いつも志を忘れないようにしたいな。

(2) 2学期

- ・26年度の実践と同じように進める。
- ・26年度の反省を生かし、お役立ち山は、1学期のを参考にしながら、パソコンで入力していった。(3学期に全員がお役立ち山を見せて、発表するため)
- ・また、お役立ち山とリンクさせながら、夢作文を書いていった。

11月…18日 志授業発表会

26年度と同じように、市長さん、井上さん、細江さんを招待して発表していった。
 昨年度の反省を生かし、来年度につなげるという意味で、5年生を招待して、体育館で行った。
 市長さんには、自分の志・井上さんには講評をいただいた。
 5年生からも感想を話してもらった。

仲間の発表から…一人一人が自分の志を何も見ずに堂々と発表する姿に感動した。仕事に就くために具体的に進む道がはっきりしていてすごいと思った。
 井上さん・市長さんの話から…自分の志を果たすためにどんな努力をすればよいのか理解できた。

(3) 3学期

1月…27日 授業参観で

全員が保護者の前で自分の志を発表する。

昨年度と同じような形態で行う。

(4) 27年度の成果と課題

○成果

- ・昨年度と同様に志を持つことによって、子どもたちが自分の今がんばることが明らかになった。
- ・夢が持てない子については、保護者の協力を得ながら、家庭でも考えることができた。
- ・5年生を招待することによって、来年度のつながりを考えることができた上、6年生も5年生につなげていこうという意識がもてた。

△課題

- ・26年度と同様、職業によっては、どのように進めばよいか分かりにくいものがある。(たとえば、水泳選手・陸上選手・～屋の店長・ゲームクリエイターなど)
- ・来年度は、実際にいろいろな職業に就いている人の話を聞けるようにしていきたい。

第6学年 総合的な学習の時間

海津市立吉里小学校

単元名 12歳の志 ～オンリーワンの自分づくり～ (全70時間)

- 1学期 サロン吉里の方との関わり～身近な人の生き方から学ぼう～ (20時間)
- 2学期 生きるってすばらしい!～自分の課題に向かって個人追究しよう～ (32時間)
- 3学期 12歳の志 ～オンリーワンの自分づくり～ (18時間)

1 単元の目標

- 人、もの、自然とのかかわりから自分を見つめ、自分のよさや可能性に気づき、自分らしい生き方を考えることができる。
- 様々な人の生き方・生命の誕生、動物と人間の関係等、大テーマ「生きるってすばらしい!～人はなぜ一人では生きられないのか～」に向かって課題を決め、追究のために情報収集し、自分なりの結論をまとめ発信することができる。

2 単元の評価規準

単元 の 評 価 規 準	発見する力	・サロン吉里の方との関わりや様々な方々からの話を聞いたり本を読んだりする中で、自分の生き方を見つめ直すための課題をもつことができる。 [課題]
	追究する力	・自分の課題について、適切な方法で調べたり(図書・インターネット等の活用)聞き取りをしたりすることができる。[情報収集] ・仲間と交流しながら活動を進める中で、よりよい方法を学び合い、考えを深めることができる。[学び合う]
	追究して学んだことを働きかける力	・調べたことや体験したこと、感じたことや考えたことを伝えるために、分かり易くまとめたり話したりすることができる。 [表現] ・活動のまとめや交流会・発表会を通して、仲間の考えのよさを見付けたり自分の考えを振り返ったりして、次の活動に生かすことができる。 [自他を評価] ・人、もの、自然とのかかわりから自分を見つめ、自分のよさや可能性に気づき、自分らしい生き方を考え実践することができる。 [創造・実践]

3 学習展開

小単元名 (時数)	1 サロン吉里の方との関わり～身近な人の生き方から学ぼう～ (20時間)			
学習活動(時数) *ねらい	留意点	観点	評価規準 (評価方法)	教科・特活・ 道徳・行事と の関連
<p>*サロン吉里に関わっている人たちとの交流を通して、「生き方」について考え、「自分の生き方」について考えていく方向性をもつ。(1)</p> <p>①【まちづくり講座】 ・よりよいまちや地域をめざしている人々の思いを知る。 ○サロン吉里は地域の人々のためにつくられたんだ。もっと詳しく調べてみたいな。</p> <p>②サロン吉里で地域の人たちにインタビュー ○坂本さんたちは地域の人々が喜ぶ活動をしている。それをとても楽しみにしている人がいるんだ。私たちも何かしてみたい。</p> <p>③サロン吉里お役立ち活動Ⅰ(お茶出し お話) ○たくさんの方が健康診断にきているな。元気そうに見えるのにどうしてかな。聞いてみよう。</p> <p>④高齢者疑似体験 ○体験してみると、体が思うように動かないな。生活の中で大変なことがたくさんあるんだろうな。</p> <p>⑤サロン吉里お役立ち活動Ⅱ(お茶出し 肩たたき 草取り お話 卓球など) ○体験したことを生かして活</p>	<p>・サロン吉里にはどんな人たちが来書しているのか、その人たちと関わっているのはどんな人なのか、知っていることを交流して、予想を立てる。その方たちとどのようなかかわりをするか、よいのかを考えていくことについて話し、1年間の学習への見通しをもたせる。</p> <p>・各回の活動をもとに、感想を交流する中で、課題を明確にしていく。 ・プリントを用意し、感想を累積していく。</p>	<p>課題</p> <p>情報 表現 学び</p>	<p>・「いのち」にかかわる資料提示をもとに進んで話し合ったり、仲間と交流したりしようとしている。(話し合い)</p> <p>・自分の生活・考え方・生き方とつなげて感想をまとめようとしている。(学習プリント)</p>	<p>国語「生き物はつながりの中に」</p> <p>理科「生き物とかんきょう」 ・地球と生き物のくらし ・動物のからだのはたらき ・植物のからだのはたらき</p> <p>道徳「よみがえれ、海よ一襟裳岬に木を植えた漁師たち」 「この手に命を受けて一国境なき医師団」 「おばあちゃんの心」 「雨一星野富弘」</p> <p>特活「縦割り仲よし活動」</p>

動しよう。体験して思ったことも伝えよう。				
⑥サロン吉里お役立ち活動Ⅲ (親子読み聞かせ) ○地域の子どもたちとも触れ合おう。どんな遊びをすると喜ぶかな。				
*「志授業」の副読本を読み進めながら、自分の人生をどう生きていこうかと考えることができる。2学期の個人追究課題につなげることができる。(1)	・自分と異なる感じ方や考え方のよさをメモして聞いたり、そこから新しい課題を見付けたりするように指示しておく。	学び 評価 課題	・自分の考えを深めている。(学習プリント) ・仲間のよさに気付いている。(感想発表) ・交流会を通して、追究したい課題をもととしている。	

小単元名 (時数)	2 生きるってすばらしい!～自分の課題に向かって個人追究しよう～ (32時間)			
学習活動 (時数) *ねらい	留意点	観点	評価規準 (評価方法)	教科・特活・ 道徳・行事との 関連
*「生きるってすばらしい!」というテーマに向かって個人追究課題を設定し、追究の計画を立てることができる。(2) ・テーマに向かってどんな課題が設定されそうか話し合い、自分が調べてみたいことを決め、どのように調べていか内容や方法を考え計画を立てる。(2)	・個別指導をすることで、一人一人に追究の方向性を明確にもたせる。 ・課題例を提示する。	課題	・自分の課題を明確にもち、何で追究していくのか意欲的に考えている。(学習プリント)	国語 「やまなし」 「平和のとりでを築く」 理科 「生き物とかんきょう」 ・生き物のくらしとかんきょう

*自分の課題追究に合った情報を得ながら、追究することができる。(5) ・図書資料、インターネット、聞き取りなどの方法を選んで、それぞれの方法に沿って追究する。(5)	・一人一人が何をどのように追究し、どんな結論を導こうとしているのか個別指導をし、助言をしていく。	情報 学び	・図書資料やインターネットなどを利用して追究したい内容について調べようとしている。(ノート)	道徳 「絶望の中で見つけた光」 「屋久島の森で」 「レジにて」 行事 「運動会」 特活 「縦割り仲良し活動」
*講師を招き、話を聞くことで自分の個人追究に生かすことができる。(12) ・実際に話を聞くことで、自分が追究してきたこととの共通点を見付けたり、新しい発見に気付いたりすることができる。(12)	・講師を招いての授業は、個人追究の差を埋めるものとして位置付ける。	情報 学び 表現	・話を聞き、感想だけではなく、考え方が深まっている。(学習プリント)	
⑦サロン吉里学び活動Ⅰ(戦争の話の話を聞こう) ○よりよい生き方をみつけるために、地域の方から学ぼう				
⑧小川剛矢さん学び活動Ⅱ ○どんなに辛くても、あきらめず前向きに考えよう。				
⑨杉原千畝さん学び活動Ⅲ ○自分の信念を貫き、人命を優先した生き方はすごい。				
⑩志授業を通した学び活動Ⅳ ○自分の志って何だろう。どんな自分になりたいんだろう。				
⑪漆原先生学び活動Ⅴ ○なりたい自分になるためには、今どんな気持ちで、何をすればいいんだろう。				
⑫文字職人杉浦さん学び活動Ⅵ ○夢をもつことは素晴らしい				

いな。自分が本当にしたいことって何かな。				
<p>* 追究して分かったことや考えたことを、交流会のために分かりやすくまとめ、発表することができる。(中間交流会) (13)</p> <p>・自分が伝えたいことを分かりやすく伝えるために、資料を作ったり、原稿を書いたりする。(10)</p> <p>・互いに見合ったり聞き合ったりして、仲間のよさに気付き考えを深めることができる。(2)</p> <p>・交流会を通して、自分の生き方とつなげて考えたことをまとめる。(1)</p>	<p>・個人追究をしていく中で、中間交流会を位置付けることで、自分の課題を明確にし、追究を更に深める。</p> <p>・仲間の発表のよさ・考え方・内容のよさに気付けるようにする。</p> <p>・自分が追究したことで仲間に伝えたいことを明確にする。</p> <p>・自分の生き方につなげる。</p>	表現 学び 評価 創造	<p>・交流を通して、自分の追究について振り返り、考えを深めようとしている。(学習プリント)</p> <p>・仲間のよさに気付いている。(感想交流)</p>	

<p>自分も今できることを一生懸命やりたい。</p> <p>○あきらめず、いつでも前向きに頑張っていきたい。</p>					<p>特活 ・縦割り仲良し活動の集大成 ～さわやか大作戦～ 行事 「文化交流会」 「卒業式」</p>
<p>* まとめの会を行う。まとめの会を通して自分の考えを深めたり、仲間の発表のよさに気付いたりできる。</p> <p>(4)</p> <p>⑭親への発信(授業参観)</p> <p>・12歳の志として、自分たちで考えたことを発信することができる。</p> <p>・自分が伝えたいことを分かりやすく発表する。</p> <p>・自分と比べながら発表を聞き、仲間の発表のよさ・新しい発見に気付く。(2)</p> <p>・まとめの会を振り返り、1年間の総合的な学習の時間のまとめを書く。</p> <p>* 卒業式</p> <p>・親に向かって発信したことをもとに、親・在校生・地域の方に、小学校6年間の集大成として自分の志を発表する。</p>	<p>・自分のこれからの生き方についてどのように考えてきたのか、今までの自分を見つめたときにどこを変えたいと思ったのか、自分の目標に向かってどのように進んでいるのかを、親に向かって発信できるようにする。</p> <p>・親には子どもが一生懸命考えてきたことを受け止め、親の知らなかった部分の成長を喜んでほしいと伝える。</p>	学び 評価 創造	<p>・まとめの会を通して自分の考えを深めている。(学習プリント・発表)</p> <p>・自分を見つめ、実践につなげている。(日常観察)</p>		

小単元名 (時数)	3 12歳の志 ～オンリーワンの自分づくり～ (18時間)			
学習活動(時数) *ねらい	留意点	観点	評価規準 (評価方法)	教科・特活・ 道徳・行事と の関連
<p>* 12歳の志として自分が伝えたいことを整理し、まとめの会に向けての準備を進めることができる。(14)</p> <p>・発表に必要な資料を作る。テーマに合わせてプレゼンテーションを作成することができる。(14)</p> <p>⑬志授業(交流会)</p> <p>○自分自身を高めるために、小さなことでも努力し続けたい</p> <p>○感謝の気持ちを忘れずに、人とのつながりを大切にしたい</p> <p>○みんな必死に生きている。</p>	<p>・発表の主張点がよく分かるように、強調したい部分を工夫したり、発表の流れを工夫したりするよう助言する。</p>	表現	<p>・自分が伝えたいことを分かりやすく発表できるよう資料の準備をしている。(発表原稿・資料・プレゼンテーション)</p>	<p>国語 「海の命」</p> <p>理科 「生き物とかんきょう ・人とかんきょう</p> <p>道徳 「地震で学んだこと</p>

第6学年 総合的な学習の時間（くすのき活動）

羽島市立中央小学校

単元名 羽島に生きる自分

(全70時間)

- 1学期 羽島の文化と歴史
- 2学期 ふるさと羽島と先輩に学ぶ
- 3学期 羽島に生きる自分

(20時間)
(32時間)
(18時間)

1 単元の目標

- いろいろな方々の生き方を学ぶことを通して、羽島に生きる自分の在り方やこれからの生き方を考えることができる。
- 様々な人の生き方をもとに、自分はどのように生きていくとよいかを考え、追究のために情報収集し、自分なりの結論をまとめ発信することができる。

2 単元の評価規準

単元 の 評 価 規 準	見つける力	郷土の社会、人との関わりの中で、調べてみたいことや生活や体験から課題を見付けることができたか。
	人と関わる力	地域や周りの人のよさに気付き、ともによりよく生きていこうとしたり、働きかけていこうとしたりしたか。
	情報収集の力	課題解決に向け、課題解決の見通しをもち、自分で選んだよりよい方法で調べることができたか。
	表現する力	追究したり考えたりしたことを、相手や目的を考えて多様な方法で表現することができたか。
	振り返る力	学習過程を振り返り、以前と比べ、自分や仲間の意識や考え方を評価できたか。

3 学習展開

小単元名 (時数)	1 羽島の文化と歴史 (20時間)			
学習活動(時数) *ねらい	留意点	観点	評価規準 (評価方法)	教科・特活・ 道徳・行事と の関連
*佐吉仏について調べたり聞いたりすることを通して、地域のために生きている人達がいることを知り、「生き方」について考え、「自分の生き方」について考えていく方向性をもつ。(15)	・マララさんの生き方のもとにある考えについて交流する。自分たちがそこまで考えて日々生活しているのかを振り返り、小学校を卒業するという節目の年に、自分の生き方について考えていこうと方向をもつことができるようにする。	見つける	・「いのち」にかかわる資料提示をもとに進んで話し合ったり、仲間と交流したりしようとしている。(話し合い)	国語「生き物はつながりの中に」 理科「生き物とかんきょう」 ・地球と生き物のくらし ・動物のからだのはたらき ・植物のからだのはたらき 道徳「よみがえれ、海よ一襟裳岬に木を植えた漁師たち」 「この手に命を受けて一国境なき医師団」 「おばあちゃんの心」 「雨一星野富弘」 特活「縦割り仲良し活動」 5年国語 「千年の釘に挑む」
① 世界一大きな授業 ・マララさんの訴えから、自分たちと同じような年代の人が、目標をもって生きていることを知る。 ○マララさんは自分の考えをはっきりもって生きているんだ。自分の役に立ちたいと考えているんだ。地域にもそういう人がいるんだろうか。	・佐吉仏について調べ学習をして見学に臨む。	情報 関わる	・自分の生活・考え方・生き方とつなげて感想をまとめようとしている。(学習プリント)	
② 佐吉大仏の見学 ○羽島に生きた人の中にも、地域のために自分のできることをしようと取り組んだ人がいるんだ。それをとても楽しみにしている人がいるんだ。私たちが大人になって羽島のために役に立つ人になりたい。	・社会科の学習をもとに、歴史上の人物の生き方について調べ、確かめられるようにする。			
③ 歴史上の人物の生き方 ○この建物は、こんな願いで建てられたんだ。日本をよくしたいという考えが分かるな。				

<p>* 立志教育支援プロジェクト理事長 井上武先生から「志授業」を受け、志をもつことの大切さについて知り、自分の人生をどう生きていこうかと考えることができる。2学期の個人追究課題につなげることができる。(6)</p> <p>○自分の志って何だろう。どんな自分になりたいんだろう。</p> <p>○杉原千畝さんの生き方を知って、自分の信念を貫き、人命を優先した生き方はすごい。</p>	<p>・自分と異なる感じ方や考え方のよさをメモして聞いたり、そこから新しい課題を見付けたりするように指示しておく。</p> <p>・各回の活動をもとに、感想を交流する中で、課題を明確にしていく。</p> <p>・プリントを用意し、感想を累積していく。</p>	<p>学び 評価 課題</p>	<p>・自分の考えを深めている。(学習プリント)</p> <p>・仲間のよさに気付いている。(感想発表)</p> <p>・交流会を通して、追究したい課題をもととしている。</p>
--	---	-------------------------	---

<p>* 講師を招き、話を聞くことで自分の個人追究に生かすことができる。(15)</p> <p>・実際に話を聞くことで、自分が追究してきたこととの共通点を見付けたり、新しい発見に気付いたりすることができる。</p> <p>①生き方学習 (小川剛矢さんの生き方) ○どんなに辛くても、あきらめず前向きに考えよう。</p> <p>②生き方学習 (森貴路さんの生き方) ○なりたい自分になるためには、見通しをもってこつこつ取り組むことが大切なんだ。</p> <p>③生き方学習 (中垣繁幸さんの生き方) ○自分の得意なことを生かして、岐阜のためになることをしようとするこつこつは素晴らしい。自分が本当にしたいこつこつって何かな。</p>	<p>・講師を招いての授業は、個人追究の差を埋めるものとして位置付ける。</p> <p>・自分と異なる感じ方や考え方のよさをメモして聞いたり、そこから新しい課題を見付けたりするように指示しておく。</p> <p>・各回の活動をもとに、感想を交流する中で、課題を明確にしていく。</p> <p>・プリントを用意し、感想を累積していく。・個別指導をすることで、一人一人に追究の方向性を明確にもたせる。</p> <p>・課題例を提示する。</p>	<p>情報 関わる 振り返る</p>	<p>・話を聞き、感想だけではなく、考え方が深まっている。(学習プリント)</p>	<p>行事 「運動会」 特活 「縦割り仲良し活動」</p>
<p>* 追究して分かったことや考えたことを、分かりやすくまとめ、発表することができる。(地域ふれあい夢広場)(5)</p> <p>・自分が伝えたいことを分かりやすく伝えるために、資料を作ったり、原稿を書いたりする。</p> <p>・互いに見合ったり聞き合ったりして、仲間のよさに気付くことができる。</p> <p>・夢広場を通して、自分の生き方とつなげて考えたことをまとめる。</p>	<p>・個人追究をしていく中で、自分の課題を明確にし、追究を更に深める。</p> <p>・仲間の発表のよさ・考え方・内容のよさに気付くようにする。</p> <p>・自分の生き方につなげる。</p>	<p>表現</p>	<p>・交流を通して、自分の追究について振り返り、考えを深めようとしている。(学習プリント)</p> <p>・仲間のよさに気付いている。(感想交流)</p>	

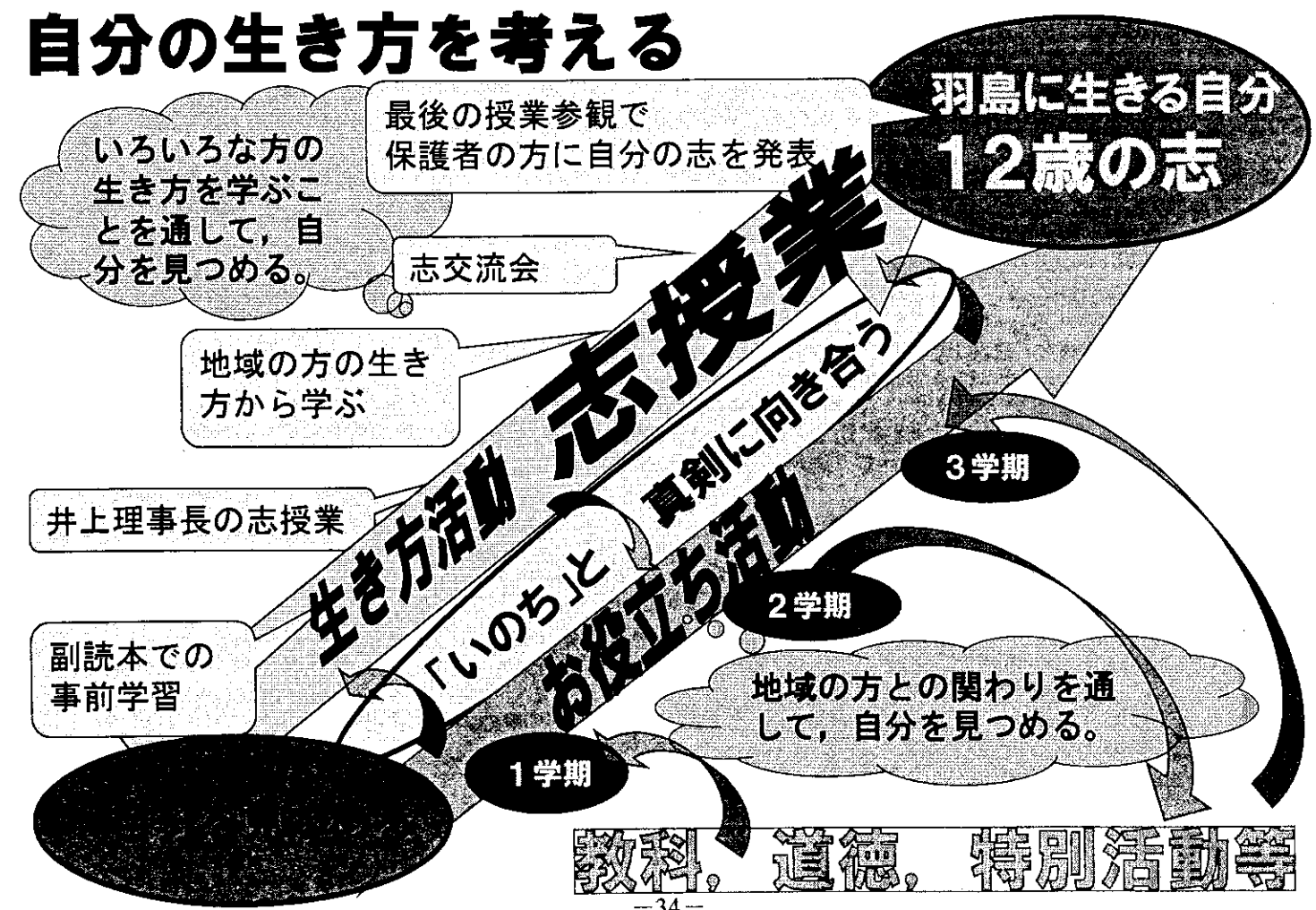
小単元名 (時数)	2 ふるさと羽島と先輩に学ぶ (32時間)			
学習活動 (時数) *ねらい	留意点	観点	評価規準 (評価方法)	教科・特活・ 道徳・行事との 関連
<p>* 「志授業」の副読本を読み進めながら、自分の人生をどう生きていこうかと考えることができる。2学期の個人追究課題につなげることができる。(5)</p>	<p>・自分と異なる感じ方や考え方のよさをメモして聞いたり、そこから新しい課題を見付けたりするように指示しておく。</p> <p>・課題例を提示する。</p>	<p>見つける</p>	<p>・自分の課題を明確にもち、何で追究していくのか意欲的に考えている。(学習プリント)</p>	<p>国語 「やまなし」「平和のとりでを築く」</p> <p>理科 「生き物とかんきょう」 ・生き物のくらしとかんきょう</p>
<p>* 自分の課題追究に合った情報を得ながら、追究することができる。(5)</p> <p>・図書資料、インターネット、聞き取りなどの方法を選んで、それぞれの方法に沿って追究する。</p>	<p>・一人一人が何をどのように追究し、どんな結論を導こうとしているのか個別指導をし、助言をしていく。</p>	<p>情報</p>	<p>・図書資料やインターネットなどを利用して追究したい内容について調べようとしている。(ノート)</p>	<p>道徳 「絶望の中で見つけた光」「屋久島の森で」「レジにて」</p>

小単元名 (時数)	3 羽島に生きる自分 (18時間)			
学習活動(時数) *ねらい	留意点	観点	評価規準 (評価方法)	教科・特活・ 道徳・行事と の関連
* 12歳の志として自分が伝えたいことを整理し、まとめの会に向けての準備を進めることができる。(14) ・発表に必要な資料(お役立ち山と夢作文)を作る。(10) ・志授業(交流会)(4) ○自分自身を高めるために、小さなことでも努力し続けたい ○感謝の気持ちを忘れずに、人とのつながりを大切にしたい ○みんな必死に生きている。自分も今できることを一生懸命やりたい。 ○あきらめず、いつでも前向きに頑張っていきたい。	・発表の主張点がよく分かるように、強調した部分を工夫したり、発表の流れを工夫したりするよう助言する。	表現 関わり 振り返り	・自分が伝えたいことを分かりやすく発表できるよう資料の準備をしている。 (夢作文・お役立ち山)	国語 「海の命」 理科 「生き物とかんきょう 人とかんきょう」 道徳 「地震で学んだこと」 特活 ・縦割り仲良し活動の集大成 授業参観
* まとめの会を行う。まとめの会を通して自分の考えを深めたり、仲間の発表のよさに気付いたりできる。(4) ・親への発信(授業参観) ・12歳の志として、自分たちで考えたことを発信することができる。 ・自分が伝えたいことを分かりやすく発表する。 ・自分と比べながら発表を聞き、仲間の発表のよさ・新しい発見に気付く。(2) ・まとめの会を振り返り、1年間の総合的な学習の時間のまとめを書く。	・自分のこれからの生き方についてどのように考えてきたのか、今までの自分を見つめるときにどこを変えたいと思ったのか、自分の目標に向かってどのように進んでいるのかを、親に発信できるようにする。 ・親には子どもの考えを受け止め、成長を喜んでほしいと伝える。	表現 関わり 振り返り	・まとめの会を通して自分の考えを深めている。 (学習プリント・発表) ・自分を見つめ、実践につなげている。 (日常観察)	

総合的な学習の時間 くすのき学習



自分の生き方を考える



講師認定 No.001 井上武 (いのうえたけし)

岐阜県在住 (認定日: 2012年1月15日)

◆プロフィール

ラブリークイーン株式会社 代表取締役会長

LFC株式会社 代表取締役会長

NPO法人岐阜立志教育支援フォーラム理事長

生年月日 1943年5月17日略歴

1966年 大分大学経済学部卒

1966年 丸紅入社

1973年 ラブリークイーン入社

1988年 ラブリークイーン社長就任

2009年 ラブリークイーン会長就任

好きなこと…スポーツ (マラソン・トライアスロン), 読書, 旅行「世界一周船の旅」を2回

好きな本… 歴史小説, 経済解説書, 感動物語

好きな言葉…『一生感動・一生勉強・一生青春』

◆認定講師の決意 (抱負) コメント

臥龍さんと一緒に、2008年に「志授業」を立ち上げて、岐阜県を中心に普及に務め、お蔭さまで、岐阜県では「岐阜立志教育支援プロジェクト」としてNPO法人も設立されました。

私も、「志授業」講師としてデビューし、数十回の「志授業」を行い、子供たちから素晴らしい「感想文」や「お役立ち山」を書いていただき、本当に感動しました。このような素直で輝く子供たちが、未来に向かって大きな「夢・志」を育てられるようにするのが、私たち大人の役目です。「子供たちは、未来からの使者」なのです。

講師認定 No.005 大橋拓幸 (おおはしひろゆき)

愛知県在住 (認定日: 2013年2月24日)

◆プロフィール

株式会社アイチパック 代表

わくわくライフサポート守山 代表

1970年 名古屋市生まれ名古屋育ち

1993年 辻村宏和先生に師事し経営組織論、企業論を学び中部大学経営情報学部を卒業

1993年 株式会社和信化学工業に入社し東海3県を営業として走り回る。

1996年 株式会社アイチパックに入社し会社経営の歩みをスタートする。

2012年 株式会社アイチパックの新規事業部として地域貢献を目指しヘルスケアもりやまを立ち上げる。

2013年 守山区社会福祉協議会 第三次地域計画策定委員として地域福祉計画策定に携わる。また、わくわくライフサポート守山を立ち上げ守山区に住む方が健康でわくわくした暮らしのお手伝いをする運動・食事・のイベント・教室を行う。

◆認定講師の決意 (抱負) コメント

私は子供の頃、徳川家康、野口英世、エジソン、キュリー夫人などの偉人伝を読むのが大好きでした。「志」は他人が決めるものでもなく、他人から与えられるものでもありません。自分の「志」は自らの心の中にしかありません。そんな私も「志」を決めるまでには、壁にぶつかり、時には迷い、時には「志」が見えなくなったり、を繰り返して現在の「志」を持つに至りました。そんな時にヒントや支えになったのは偉人たちの足跡でした。私も子供たちにかっこいい大人の背中を見せたい。子供たちに志を持って生きる素晴らしさを伝えたい。子供たちと共に素敵な未来を創りたい。そんな思いで「志授業」に取り組んでおります。

講師認定 No.006 服部美記 (はっとりみき)

岐阜県在住 (認定日: 2013年8月25日)

◆プロフィール

岐阜県生まれ。大学卒業後、老舗菓子メーカー勤務を経て、オーストラリアに留学。帰国後は子ども英会話講師を7年間務める。幼児から中学生まで常時100名を担当。100組の家族との関りの中で、子どもが志を持ち、親をはじめとする周囲の大人たちがその志を応援する重要性を実感。

現在は、講師としての枠を抜け、高校・大学・専門学校にてビジネスマナーや就職支援の授業を持ち、また企業研修も行っている。企業研修では「好感を持たれるマナー・接遇研修」、「利用者と家族の満足のための介護施設職員研修」等を展開。そして、教育委員会主催の幼稚

園・小学校・中学校の教員対象コミュニケーション研修も担当する。またキャリアカウンセラーとして、カウンセリングも行っている。『ミキ先生の研修は何度も受けてみたい』の声を力に、今日も邁進中。

【資格】高等学校教諭一種免許、小学校英語指導者資格、図書館司書、司書教諭、社会教育主事、キャリアカウンセラー (CDA キャリア・デベロップメント・アドバイザー)

◆認定講師の決意 (抱負) コメント

せっかく入社した会社を3年以内に離職する若者が3人に1人の時代です。私自身も、大学卒業後に就職した会社を1年で退職し留学、帰国して再度職についた時に、やっと明確な志を持つことができました。我武者羅にした大学時代の就職活動も、それを経てやっと入社した会社での仕事も、有り難い経験ではありますが、自分を情けなく思う苦しい日々、暗中模索でした。子どもの頃から志を明確に持っていたら、もっと早い段階で好きな仕事に飛び込むことができたと思います。たった一度の人生、一人でも多くの子どもたちに好きな仕事に就いてほしい。また、苦勞をしながらでもその仕事を極めていってほしい。好きな仕事だからこそ、辛いことも乗り越えていけるからです。いま、キャリアカウンセラーとして就職支援をしていて切に感じます。子どもたちの心の奥まで志授業を届けたい。そのために日々精進しています。

講師認定 No.011 土屋美佳 (つちやみか)

岐阜県在住 (認定日: 2014年8月10日)

◆プロフィール

Healing Salon 月下香・代表

【資格】レイキティーチャー

クンダリーニレイキマスター

エンジェルライトイニシエーションマスター

エンジェルリンクファシリテーター

耳ツボ瘦身アドバイザー

看護師 (美容皮膚科・心臓血管外科病棟・消化器外科病棟勤務経験あり)

1977年 岐阜県岐阜市生まれ。

1998年 岐阜大学医療技術短期大学部看護学科卒業 (現岐阜大学医学部看護学科)。

1999年 株式会社デンソー入社。

2006年 社会保険中央総合病院入職。

2012年 Healing Salon 月下香開業、現在に至る。

◆認定講師の決意 (抱負) コメント

子どもの頃、家庭の事情や繰り返す体調不良のために、未来に希望を持つことが難しい状況でした。ですが、今ようやく、未来には無限の可能性があることを実感し、人生を楽しめるようになりました。

現代の子どもたちは、恵まれた生活環境にあっても、悩み苦しんでいる子が多いそうです。「働く」ということをまるで拷問かのように考えている学生も少なくないとのこと。しかし、「働く」ということは、実は自分自身が幸せになる方法だということ、「志」を持って何者にもなれるという希望があることを、ぜひ「未来からの使者」である子どもたちに伝えていきたいと考えています。気づくタイミングが早ければ早いほど、可能性は広がります!

講師認定 No.025 古澤文介 (ふるさわじょうすけ)

岐阜県岐阜市在住 (認定日: 2015年8月9日)

◆プロフィール

1968年9月6日生まれ

1991年 南山大学法学部卒業

1991年~2000年 JTBにて国内・海外を飛び回る

2001年~2006年 (株)ヤマガタヤ貿易業務にて欧州を中心に年間50日の海外出張経験で本物志向&真の豊かさを追求する価値観をと出会う

2007年~現在 フルハウス株式会社代表取締役としてお客様の幸せリゾート空間創造事業を展開中!

◆認定講師の決意 (抱負) コメント

一人でも多くの子どもたちが人生という「ウサギとカメのレース」で、カメの目をもって生きることの喜びを感じられるよう、「自分自身の人生を生きる」喜びに満たされる一助となれるよう、クリキンディの気持ちで活動しています。

地元自治体の首長や教育長での賛同者

細江 茂光	岐阜市長	水川 和彦	岐阜県義務教育総括官
松井 聡	羽島市長	早川三根夫	岐阜市教育長
藤原 勉	本巣市長	伏屋 敬介	羽島市教育長
松原 秀安	岐南町長	白木 裕治	本巣市教育長
広江 正明	笠松町長	宮脇 恭顯	羽島二郡教育長
戸部 哲哉	北方町長	名取 康夫	北方町教育長

「立志教育」普及賛同者

飯森 範親	指揮者	鈴木 秀子	文学博士・国際コミュニケーション学会名誉会長
漆 紫穂子	品川女学院・校長	田島 一男	経済同友会・特別幹事
大棟 耕介	ホスピタル・クラウン	田中 義人	NPO法人日本を美しくする会・会長
神渡 良平	作家	出口 光	メキキの会会長 NPO法人ライフキャリア協会会長
栗城 史多	登山家	中村 文昭	耕せにつぼん活動・主宰
今野華都子	世界一のエステティシャン	西村 貴好	一般社団法人日本ほめる達人協会・理事長
篠塚建次郎	ラリードライバー	町田 宗鳳	広島大学大学院総合科学研究科教授
上甲 晃	志ネットワーク・代表	村上 和雄	筑波大学名誉教授
菅谷 昭	松本市市長		

発行支援スポンサー

株式会社 鷺飼	会長	柳原 幸一	各務原市
LFC 株式会社	会長	井上 武	本巣市
株式会社 大垣共立銀行	頭取	土屋 嶋	大垣市
株式会社 十六銀行	頭取	村瀬 幸雄	岐阜市
ジーエフ株式会社	会長	児玉喜久夫	大野町
TACT高井法博会計事務所	所長	高井 法博	岐阜市
株式会社 トーカイ	社長	小野木孝二	岐阜市
日本ウエストーン株式会社	社長	白井麻紗杜	岐阜市
株式会社 トコロ	社長	所 章吾	岐阜市
福寿工業 株式会社	社長	高木 豊	羽島市
不二精工 株式会社	社長	高木 力	羽島市
株式会社 文溪堂	会長	水谷 邦照	羽島市
吉岡 株式会社	社長	吉岡 源裕	岐阜市
ラブリークィーン 株式会社	社長	井上 真典	岐阜市
矢島建設工業 株式会社	社長	森口 和巳	岐阜市
株式会社V字経営研究所	社長	酒井 英之	岐阜市

志授業の進め方事例集

編集・発行者 NPO 法人岐阜立志教育支援プロジェクト
 発行責任者 理事長 井上 武
 発行日 平成28年8月1日